



たんぽぽ

戸田市立喜沢小学校 令和8年5月29日

～3つの大切～
自分から考え、行動しよう
自分もみんなも大切にしよう
あきらめないでやりきろう

6月号

デジタル・シティズンシップ（DC）授業への挑戦

～家庭と学びを共有したDC育成～

校長 山根 淳一

5月中旬に実施しました個別面談では、ご来校いただき、担任等と一緒に児童を見つめていく話し合いができましたことに感謝申し上げます。限られた時間ではありましたが、学校と家庭での様子を共有し、今後の見通しを共にお話できたことは大変有意義な機会となりました。今後も何か気になることやご心配な点がございましたら、いつでも担任までお気軽にご相談ください。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では「デジタルシティズンシップ（以下DC）育成」を目指し、取組をすすめています。

DCとは、デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のことです。DCは様々な授業を含めた全教育活動やICTを日常的に活用する中で実践的に育成されていくものです。

一人一台の端末を活用した授業が実施される中、戸田市では「情報モラル教育」から「DC教育」へと質的転換をし、学習者主体で自分自身の見方・考え方を創り出していく取組を行っています。

本校でもICTの危険性や使い方の改善点のみに目を向けるのではなく、活用を通してどのような生き方・社会参加ができるのかを考えたICTの創造的活用を目指しております。

また戸田市プログラミング・ICT教育研究推進委員会において、DC育成に特化した授業づくりを検討し、ねらいにせまるための学習指導案を作成しております。

DC授業 学習指導案

- 1年 生活「自分のパソコンをまなびにつかうてどうということ？」
- 2年 生活「じぶんのパソコンとじょうずにつきあうには？」
- 3年 学級活動「あなたの個人情報どう守る？」
- 4年 学級活動「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」
- 5年 学級活動「ネットいじめと行動する人」
- 6年 学級活動「自分のメディアバランスを見つめよう」

戸田市プログラミング・ICT教育研究推進委員会作成
の学習指導案から単元名を抜粋

そこで本校は6月27日に実施する学校公開において、その学習指導案を活用し、DC授業への挑戦を全学級で行ってまいります。保護者の皆様にもご参観いただき、一緒に考えていく機会をつくりたいと思います。DCを学校だけの取組にせず、「家族でメディア利用のルールを話し合ってみる」「休日に家族でデジタルツールを使って何かを創作してみる」など、よりよい活用方法を一緒に考えていただき、ご家庭でも児童のDC育成をさらに進めていければ幸いです。

6月27日の学校公開では是非ともDC授業をご参観いただければと存じます。今後も本校の教育にご理解、ご協力をお願いいたします。

情報モラル

「あなたは何をしてはいけないか」

- ・ICTの活用は限られた場面
- ・デメリット（トラブル等）のリスク管理、主に個人の安全な利用に向けて
- ・教師が主導（答えを与える）
- ・心情規範・他律的・同一・自制

ある場面を取り上げて、何がいけなかったのか、どのような危険があるのかを考えさせ、**個人が**「思いやりをもつことが大切」や「〇〇はしない方がよい」的な感想をもてるようにする。

質的転換

デジタルシティズンシップ

「あなたは何ができるか」

- ・ICTの活用が前提、かつ**日常利用**
- ・デジタルの**メリットを踏まえ、情報社会を築く責任ある主体的利用**
- ・学習者が主体（**答えを創り出す**）
- ・行動規範・自律的・多様・活用

約束を守ろうとする際に生じる様々なジレンマに対して、**社会をつくる一員として**どう行動・選択するか、**選択肢のメリット・デメリットは何かを整理し**、多様な価値観を認めながら具体的に前向きな行動・対処方法を考える。